



## 第2回 伝承シンポジウム

2019  
3 / 23 土

参加費  
無料

13:00-16:45

会場：宮城県庁 2階講堂

(宮城県仙台市青葉区本町3-8-1)

# 響

き合うために。

### ◆特別講演

「稲むらの火・濱口梧陵の行動を語り継ぐ」

崎山 光一氏 (稲むらの火の館 館長)

### ◆若者トーク「わたしたちはなぜ伝えるのか」

若者 × 佐藤 敏郎氏 (大川伝承の会 共同代表)

### ◆パネルディスカッション「響き合うために。」

パネリスト

崎山 光一氏 (和歌山県/稲むらの火の館 館長)

元田久美子氏 (岩手県/一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド)

里見 喜生氏 (福島県/いわき湯本温泉「古滝屋」16代当主)

山縣 嘉恵氏 (宮城県/野蒜まちづくり協議会 副会長)

ファシリテーター

佐藤 翔輔氏 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)

【主催】3.11メモリアルネットワーク (URL <http://311mn.org/>)

お問い合わせ先：シンポジウム開催プロジェクト [sympo2019@311mn.org](mailto:sympo2019@311mn.org)

(事務局：宮城県石巻市中央2-8-2 090-9407-3125)

【共催】宮城県

【後援】復興庁 内閣府政策統括官(防災担当) 岩手県 宮城県教育委員会 仙台市 仙台市教育委員会 東北大学災害科学国際研究所

稲むらの火の館 河北新報社 岩手日報社 福島民報社 福島民友新聞社 朝日新聞仙台総局 読売新聞東北総局 毎日新聞仙台支局

日本経済新聞仙台支局 産経新聞社東北総局 共同通信社仙台支社 時事通信社仙台支社

仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 KHB東日本放送 エヌエフエフエフ エフエム仙台 (順不同)

お申込み  
QRコード



Google フォームより  
お申込みいただけます  
定員 **200** 名程度

2018年度は、地震や豪雨などの自然災害が相次ぎました。  
東日本大震災後、伝承活動に取り組んできてた私たちにとっては、「何ができるだろう」「どうすれば伝わるのだろう」と自問し続けた1年でした。

今回は、南海トラフ巨大地震の発生が想定される和歌山で長い間伝承を続けてきた崎山氏をお迎えし、いつどこで何が起こるか分からない今だからこそ、大切なものを守るための“響き合う伝承”“あたたかな伝承”のあり方を、皆さまとともに考える機会にしたいと思います。

## パネリスト紹介



崎山 光一氏  
稲むらの火の館 館長

和歌山県広川町出身。  
平成16年4月 広川町語り部サークルを結成し、代表に就任。  
この年の年末にスマトラ沖地震・インド洋津波が起こり、事実上の稲むらの火の語り部活動が始まる。平成19年に「稲むらの火の館」が開館した。平成26年4月に同館館長に就任、現在に至る。



元田久美子氏  
一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド  
岩手県宮古市在住。  
岩手県北バス観光船事業部勤務中被災し、平成24年4月1日緊急雇用にて活動開始、平成29年4月1日宮古市の事業として継続。



里見 喜生氏  
いわき湯本温泉「古滝屋」16代当主

福島県いわき市常磐湯本町在住。  
自然災害、原子力災害で旅館が大きな被害を受けたが再建。旅館は継続しながら、観光業から未来づくり業へ転身。「NPOふよう土2100」を設立し、障がい児支援。「おてんと SUN プロジェクト」衣食住の持続可能社会に注目。「F スタディツアー」原子力災害を考察するフィールドガイドを務める。



山縣 嘉恵氏  
野蒜まちづくり協議会 副会長  
宮城県仙台市生まれ、仙台南高校卒業。東松島市在住。  
平成10年結婚し野蒜に。あの日、野蒜小校舎に走り助かる。反省から日常に防災を意識するように。平成28年 JICA 支援の HOPE が実施した派遣事業に参加。インドネシアのバンダ・アチエ市から防災教育の歌を持ち帰り紹介。

【ファシリテーター】

佐藤 翔輔氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授

東北を中心に災害伝承に関する実証的な研究や実践支援活動に携わり、主に宮城県内各地で防災・伝承に関するアドバイザーを務める。



## 稲むらの火とは

(濱口梧陵記念館・津波防災教育センター)

1820年(文政3年)、「稲むらの火」で知られる濱口梧陵は、紀州広村(現在の広川町)で生まれました。

安政の大地震津波時、その命の火で多くの村人を救った彼の功績は、現代に通じる津波防災の象徴として広く語り継がれています。

梧陵の偉業と精神、教訓を学び受け継いでゆくため、2007年(平成19年)4月、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる「稲むらの火の館」が誕生しました。来たるべき時に備え、より多くの津波の知識を身につけてください。

あなたの心にも、消えることのない「稲むらの火」を灯すために。  
(Webサイトより)



## プログラム

【司会】志野ほのかさん(大学2年生・宮城県東松島市出身)

- 12:30 受付・開場
- 13:00 開会挨拶
- 13:15 3.11メモリアルネットワーク活動報告
- 13:30 特別講演 崎山光一氏
- 14:30 休憩(10分間)
- 14:40 若者トーク
- 15:00 パネルディスカッション
- 16:15 質疑応答
- 16:30 PRタイム
- 16:40 閉会挨拶
- 16:45 交流タイム

## 若者紹介

武山ひかるさん  
(TSUNAGU Teenager Tourguide (TTT)・宮城県東松島市出身)

伊藤 健人さん  
(青い鯉のぼりプロジェクト共同代表・宮城県東松島市出身)

橋村さくらさん  
(阿蘇の灯 初代表・熊本県在住)

【ファシリテーター】

佐藤 敏郎氏 大川伝承の会 共同代表

宮城県石巻市出身。小さな命の意味を考える会代表。元中学校国語教師。宮城県防災副読本編集委員。現在はNPOやラジオで活動。